

令和 6 年能登半島地震に対する JMAT 宮城第1次隊に派遣されました（2024/1/13～18）

テーマ：能登半島地震、災害医療、災害派遣医療チーム（DMAT）、日本医師会災害医療チーム（JMAT）
派遣場所：輪島市立輪島病院、その他

2024年1月1日16時10分頃に令和6年能登半島地震（最大震度7（M7.6））が発生しました。稲葉洋平講師（災害放射線医学分野）は、2024年1月13日～18日の期間、JMAT宮城（宮城県医師会災害医療チーム）の第1次隊（東北大学病院 DMAT*）として災害派遣されました。本取り組みは、被災地の災害医療保健を継続的に支援することを目的として宮城県医師会と公的病院が協働で災害医療チームを派遣するものです。東北大学病院の医療従事者7名（医師3名、看護師2名、業務調整員2名）らで構成される第1次隊は、石川県輪島市に派遣され、輪島市保健医療福祉調整本部の指揮下で医療支援を行いました。

具体的には、市立輪島病院支援指揮所内の発熱外来診療や輪島市内の避難所巡回を行い、屋内で使用可能な自動ラップ式簡易トイレの設置作業等の医療支援を行いました。現場は、断水・悪路・悪天候により過酷な状況でありましたが、自己完結型の DMAT の特性を生かし安全に任務を遂行しました。なお稲葉講師は、1月6日～10日まで活動を行った DMAT 3次隊の後方支援も行いました。今後は2月4日から派遣される JMAT 宮城 3次隊の後方支援も行い、能登半島地震に対する医療支援を継続的に行っていく予定です。

東北大学病院のウェブサイトにて、以下の通り報告されています。

派遣前：<https://www.hosp.tohoku.ac.jp/release/news/39148.html>

派遣後：<https://www.hosp.tohoku.ac.jp/release/news/39290.html>

また、活動の様子は、地元のニュースでも取り上げられました。

ミヤギテレビニュース

「能登半島地震の被災地医療支援 石川県に災害医療チーム『JMAT宮城』 宮城県医師会」
「輪島市支援の東北大医師『ほぼ全ての避難所で浄水が出ない。衛生的に問題が』〈災害医療チーム〉」

*DMAT（Disaster Medical Assistance Team; 災害派遣医療チーム）：

大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームで、阪神淡路大震災を契機に設立されました。1チーム医師1名・看護師2名・業務調整員1名の計4名を基本単位とし、本部活動、広域医療搬送、病院支援、地域医療搬送、現場活動等を主な活動とします。



全体ミーティング（市立輪島病院）



帰還前の東北大学病院 DMAT（市立輪島病院）

文責：稲葉洋平（災害放射線医学分野）